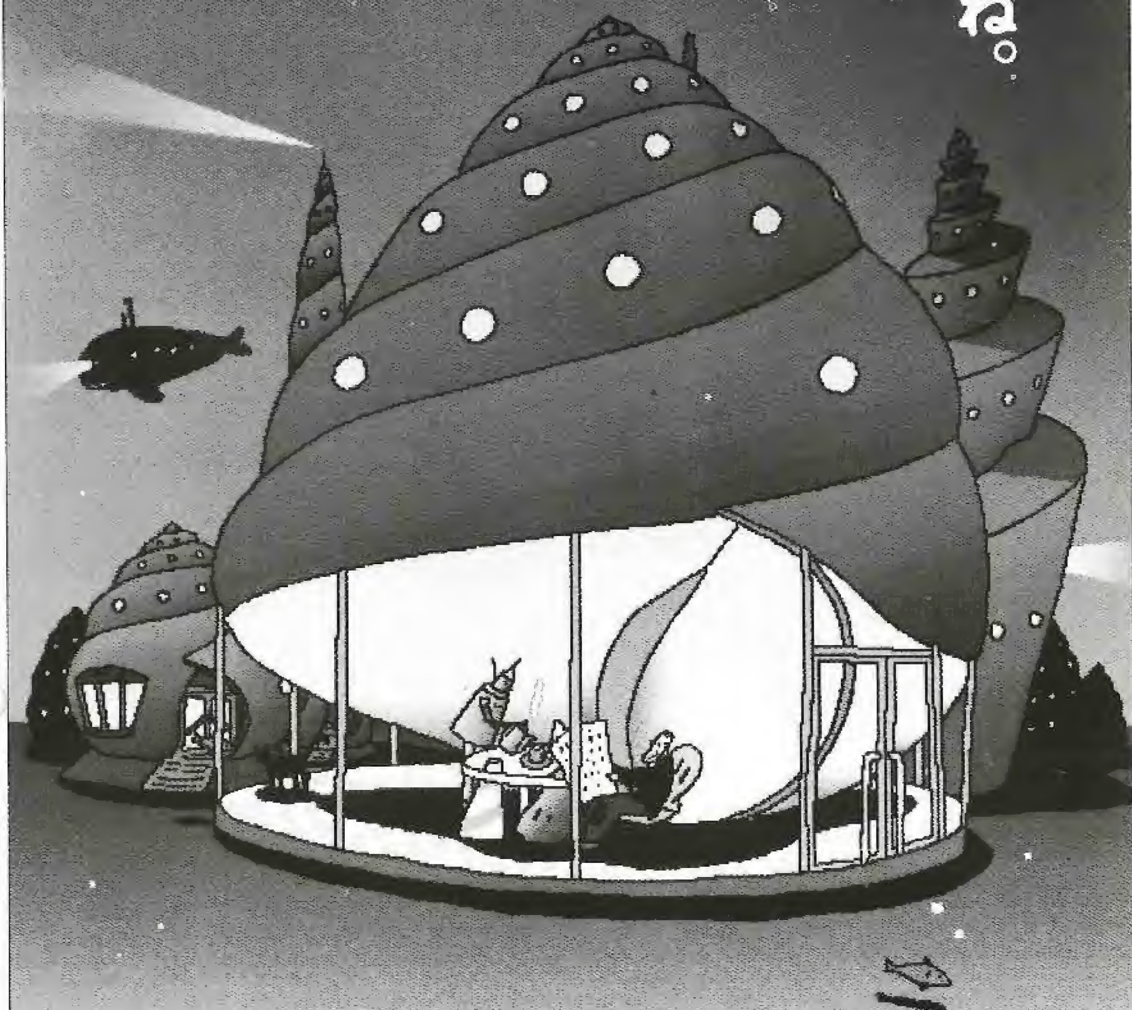
HITACHI
技術の日立

技術にも、
体温があるんだね。

どこへ行ったら会えるという存在でもないのに
毎日、たくさんの便利や快適を送りとどけている。
いないように見えて、ちゃんとそこにいる。
それが、私たちの技術の正体なんです。
みんなの幸せのためにがんばっています、よろしく。
これからも、ずっとずっと人と技術の
あたたかい関係を考えていきます。日立です。



人と技術の理想をめざす **Interface**
株式会社 日立製作所

●委員会だより●

強化委員会報告

〔日時〕4月26日14時～18時
〔場所〕東京・青山シャンピアホテル会議室
〔出席者〕
市原則之、井　薫、緒方嗣雄、高野　亮、鈴木義雄、西山逸成、野田　清、津川　昭、松井幸嗣、斉藤幸司、藤原　侑、福地賢介、高橋精一、樫塚正一、早川清孝。
〔会議内容〕
1、91年度事業計画及び予算
強化部長より報告があった。
2、ナショナル・ジュニアメンバーについて
男子ジュニアメンバーに関しては9月末までに高体連より提出願い、ナショナルBをただ今選考中である。
3、ナショナルスタッフ
女子ジュニアヘッドコーチは、高野亮氏と決定し、以下スタッフについては今後検討する。
4、強化方針
男女強化委員長並びに男女ナショナル監督より主張された。
5、世界情勢について（NHK杉山氏より）
●今回アジア選手権大会にオセアニア諸国の参加を認めるべきか。
●ヨーロッパのハンドボール界のIHF結合について
●近年海外スポーツのウーマンパワーについて
●今後の日本ハンドボール協会の発展の方向
〔その他〕
●アジア選手権大会のエントリーの状況。
●男子国際親善試合中止
●女子ナショナル大学生選手について
現在合宿に不参加だが籍は置いておき参加できるときに出るようにする。

スポーツ医科学委員会報告

1、平成2年度研究報告
(1)体力については、男女とも無酸素パワーの向上傾向は認められるものの、有酸素能力には向上が認められない。ハンドボール競技は、両機能の必要性のあることから、今後とも有酸素機能の強化向上が望ましい。
(2)
①女子合宿時3日間の栄養調査結果から、全般傾向として食事による栄養摂取熱量とトレーニング・生活による消費熱量との比は、50～70%の状況であり、摂取量の不足分をスナック等で間食している生活習慣がみられた。
②特に糖質では一日必要量30gの100倍水準を夜食で補食しており、代謝機序からみても肥満、貧血の遠因としての面からもぜひ所属チームでの改善等が望まれる。
今回の合宿では監督室に多量の選手から没収したスナックが積まれていたが、継続した強力な指導姿勢が望まれる。
③女子の貧血予防策としての面から栄養管理を重視（特別メニュー）している点は、その結果を7月のメディカルチェック時に確認できよう。
(3)適度な休養パターンとして『休養と競技力』レポートを参照されたい。
(4)研究報告の細部は別途送付する。

2、平成3年度研究計画
(1)強化現場の要望を重視し、メディカルチェック・体力測定結果を従来のチーム統計処理にためす。個人別処方のための『個人管理簿』を作成する。
(2)技術分析としては、トークアイによるシュート時の選手の注視点、VTRによるゲームの3次元分析を実施する。

3、トレーニングドクターのナショナルチームへの帯同について
(1)従来からスポーツ医科学委員会で提案されていたトレーニングドクターのナショナルチームスタッフとしての加入を目下長期合宿参加中の女子ナショナルチームにコンディショニング担当として監督を補佐する立場で参加中であったが、さらに海外遠征にも帯同できればより協力できるのではないであろうかとの依頼、打診、調整中であったが、本強化委員会で了解が得られれば今日も将来もチームスタッフに監督とチームドクターとの間のコンディショニング担当補佐者の立場で布石して欲しい。

4、トレーニングの安全管理面の支援について
合宿ではオーバーユースの面から常にコンディショニングのチェックが必要であるので、運動強度や疲労測定の調査測定面でもさらに現場進出してお手伝いしたい。

ハンドボール競技C級コーチ養成専門科目講習会報告

指導・方法委員会

前回まで(財)日本体育協会、(財)日本ハンドボール協会公認ハンドボール(上級)コーチ養成講習会として行なわれていた本講習会は、平成2年度より文部大臣の事業認定を受け、競技力向上指導者としてのハンドボール競技C級コーチ養成講習会として発足し、平成3年2月12日(火)より18日(月)まで東京・代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターに於いて行なわれた。開催時期と他の事業の関係で少々欠席者が出たのは残念であったが、予定通り終了した。

前回までの制度では、専門科目の時間数は40時間となっていたが、本制度より60時間が義務づけられたため、この期間に行なわれる量としては膨大なものとなった。講習期間中はほとんど時間の空きがなく、講習の連続といった感じであった。それにも関わらず、受講者の方々は熱心に受講されました。今後は受講者の便宜をはかり、受講しやすい時間設定をする方向で検討していきたいと考えております。

▼受講者

舟木浩久(宮崎・都城工高)
橋本春二(福島・帝京安積高)
佐藤雄次(福島・郡山女高)
杉森弘幸(茨城・筑波大)
三輪一義(茨木・筑波大研究生)
芝　重春(埼玉・自衛隊体校)
中島千明(長野・浪合教育委)
大塚秀幸(愛知・中京大大学院)
浅野幹也(愛知・中京大大学院)
小橋阿紀(京都・京都府体協)
志賀良弘(大阪・大和銀行)
望月伸三郎(大阪・大阪薬科大)
山川　潔(熊本・松橋高)
※名簿順

[講習内容と講師]

▼第1日

「ハンドボールの特性」
(コーチの役割・コーチの制度)
大西武三(指導・方法委員長)

「ハンドボールの歴史」
(歴史的発展・国際的動向)
水上　一(女子ナショナルチームコーチ)

「年齢別の指導」
(中学生の場合)
青木　徹(多摩中学)

▼第2日

「スキルの評価とその実際」
平岡秀雄(指導・方法委員)

「ハンドボールの国内・国際情報」
杉山　茂(NHK)

「実技実習(個人技能)」
平岡秀雄(指導・方法委員)
李　京姫(シャトレーゼ)

「ゲームにおける攻撃と防御論」
津川　昭(男子ナショナルチーム監督)

▼第3日

「ハンドボールにおけるルールとレフェリング」
大塚文雄(審判委員長)
岡本研二(指導・方法委員)

「実技実習(集団技能)」
平岡秀雄(指導・方法委員)
蒲生晴明(男子ナショナルチームコーチ)

「ハンドボールの指導法」
(競技レベル別・高校生の場合)
山田克彦(浦和実高監督)

▼第4日

「ハンドボールの傷害予防」
(傷害とその処置)
井上良太(小守スポーツマッサージ)

「実技実習(チーム技能)」
本田　洋(元ジュニアナショナルチーム監督)
水上　一(女子ナショナルチームコーチ)

「ハンドボールの指導法」
(年齢別・小学生の場合)
角　紘昭(指導・方法委員)

▼第5日

「ハンドボールの特性を生かした体力トレーニング」(体力トレーニングとその実際)
西山逸成(トレーニングドクター)

「指導計画作成の実習」
大西武三(指導・方法委員長)

「競技者レベル別の指導」
(一般の場合)
市原則之(強化部長)

▼第6日

「指導実習(個人技能の指導)」
大西武三(指導・方法委員長)

「指導実習(集団技能の指導)」
大西武三(指導・方法委員長)

「指導実習(チーム技能の指導)」
大西武三(指導・方法委員長)

「ハンドボールの技術的構造」
(ハンドボールのバイオメカニクス)
清水宣雄(指導・方法委員)

「ハンドボールの技術的構造」
(ハンドボールの生理学)
森田俊介(トレーニングドクタ



本田洋氏による実技実習

ー）

▼第7日「ゲームの分析とその実際」
笹倉清則（指導・方法委員）
「戦術・戦法論」
大西武三（指導・方法委員長）

●資格検定試験

講習内容の主なものは以上のようであるが、今回から新しく実技実習と指導実習が加えられている。実技実習においては、大阪の望月先生などは58歳という年齢にも関わらず、コートに立たれ汗を流しておられました。指導実習においては、まず指導案の作成に悪戦苦闘されたようであります。予定時間を大幅にオーバーしてがんばられた方がおられました。実際の指導には、筑波学園クラブと桜木中学の協力を得、指導案に沿って1人約20分ずつの指導が行なわれました。受講者の方々は、みな素晴らしい実績をお持ちの方々ではありますが、対象の違い、場の雰囲気などで緊張されている様子で、実力を出し切れなかったのではと想像されます。

最後に各講師より出題された資格検定試験が行なわれましたが、受講者の方々は熱心に取り組まれ講習会の成果を答案にまとめられました。

（文責・村松　誠）

ハンドボール指導者研修会報告

指導・方法委員会

ハンドボール指導者研修会が、日本オリンピック委員会の委託事業として、広島・呉において開催されましたので、その概要について報告いたします。

1、目的

ハンドボール競技の競技力を高めようとするとき、ゲームの評価をし、それに基づきトレーニング処方をすることは指導者にとって大切な役割となる。また、コンピュータの発達した現在、情報をいち早く処理し、その情報をゲームや練習に生かしていくことは必要なこととなる。

今回の講習会は、このような観点から指導者の資質の向上を目的とする。

2、主催

（財）日本ハンドボール協会

3、主管

広島県ハンドボール協会

4、研修内容

●ゲーム分析の意義
●ゲーム分析の方法
●ゲーム分析の実際
●世界におけるゲームのスカウティング
●ゲームの評価とそのトレーニング処方
●コンピュータを用いてのゲーム情報収集とその処置

以上のような要領で平成3年3月10日(日)に広島・呉市体育館において行なわれた。参加者は、広島県を中心とし、中学、高校、大学、実業団、自衛隊などの指導者や広島経済大学、広島大学の学生など多数の参加を得た。



真剣な表情での研修会

◆研修内容について

▼ゲーム分析の意義（大西武三）
●ゲーム情報の利用の仕方
●トレーニングの評価と処方のため
●ゲームの構造、構成要素等の関する知見を得るため
●ゲームにおける個人の貢献度
●ゲームという作品の完成度を見るため
●ゲーム再現の一助として
●マスコミ等へのサービスとして
●スカウティングのため
●ゲーム分析の方法
●現場での分析（即時処理）
　スコアシートによるもの
　コンピューター分析
●ゲーム後の分析（事後処理）
　スコアシートからの処理
　ビデオ等による事後処理

ゲーム分析の最新の例として、1990年2月にチェコスロバキアで行なわれた第12回男子世界選手権大会での報告が説明された。

▼ゲーム分析の実際（笹倉清則）

スコアシートを用いての実際のゲーム分析方法と処理について講義された。また、1982年世界選手権決勝から1990年世界選手権決勝までのオリンピックなどのビッグイベントのゲーム分析から、世界のゲーム様相の流れから、今後の流れの予想について講義がなされた。

▼コンピューターを用いてのゲーム情報の収集とその処理
●入力にあたってのゲーム観察の定義（村松誠）
●コンピューターの取り扱いとデータの処理（小山浩）
▼日本リーグのゲームを用いてのデータ収集の実習（村松誠、小山浩）

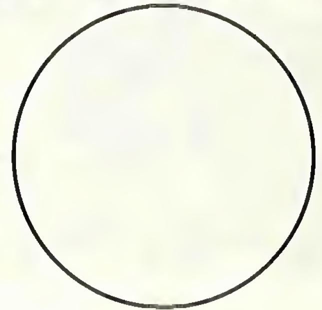
周知のとうり本年8月広島にてアジア選手権が開催されますが、今研修会はそのオペレーター養成の意図がありましたが、こちらの方の意図もおおむね達成されたと思われます。

（文責・村松誠）

ナショナルチームドクター体験記

全日本ハンドボールチームと共にアメリカシアトルへ

浜脇純一
浜脇病院整形外科



'90年7月19日、成田空港からアメリカ シアトル タコマ空港へ。私は第2回、グッドウィルゲームズに出場すべく同地に向った全日本ハンドボールナショナルチームのチームドクターとして選手団と同行、28日まで選手達と寝起きを共にしてきた。

それにしてもシアトル滞在の10日間は私にとって本当にカルチャーショックの連続であった。まず、大会規模の大きさ。同ゲームズはCNN (Cable News Network)のオーナーで世界のテレビ王テッド・ターナー氏の発案で始まった民間主催の国際総合競技大会であるが、参加国、出場種目、大会演出設備などどれを取ってもオリンピック並という充実振りで、とても民間主催とは思えない。いかに世界の超大物とはいえ、一人の力でこのような大会を開いてしまうとは、さすが、大国アメリカ、大物もケタが違うものだと感服した。

日本での同ゲームズの知名度は今ひとつであるが、アメリカやソ連ではまだ2回目にもかかわらず、4年に一度の一大イベントとしてオリンピック同様に受け入れられている。というのも、もともと同ゲームズは'80年のモスクワ、'84年のロス両オリンピックが国際政治の嵐をまともに受け、いわゆる片肺オリンピックになってしまったことをターナー氏が嘆き、スポーツ本来の純粋性を取り戻すべく米ソによる主力スポーツの2カ国対抗を考え出したことによる。つまり同ゲームズにはスポーツ本来の意味づけと、国際平和への思いが込められているのである。そしてこの思いがアメリカとソ連を中心に世界を巡り、'86年モスクワにて第1回グッドウイルゲームズが盛大に開催、4年後の昨年、第2回がシアトルで行われたのである。ちなみに第3回は'94年にレニングラードで開かれる予定。こうしてグッドウィルゲームズは着実にその歴史を築きつつある。

シアトルは米最北西端、ワシントン州に位置し、成田空港から8時間30分。人口約50万人、メトロポリタン地域としては約174万人を有する街で、ジャンボB747を始めとする航空機製造で、世界にその名を知られたボーイング社のエベレット工場があることでも有名である。そのためこの街はボーイング社の動向が街全体の景気を大きく左右するといっても過言ではない。

緯度からみればサハリンに位置するが、海流と地形の関係で気候は温暖。またカナダのバンクーバーとヴィクトリアに接しているため、かつて私が留学していたカナダのトロントによく似た美しい街である。自然も豊富で樅、杉、松などの森林、ワシントン湖などの多くの湖、市街地後方にはタコマ富士と呼ばれる富士山によく似た標高3776mのレーニア山、そして大きく入り込んだピューゼットサウンドと極めて甘美な自然絵巻を展開している。また、先に記したように気候は穏やかで、滞在中も木陰では15~20度℃、陽なたでも27度℃と快適であった。

しかし、素晴らしいのは気候や風景ばかりではない。何といって

も私が感動したのはハートフルな街の人々との出会いである。というのも空港に着いた時点から出迎え、手続き、通訳とボランティアの人々がすべてを担当、以来毎日のスケジュールチェックから食事の世話まですべてボランティアの人々がやってくれる。それもさりげなく選手たちを気遣いながら心をこめて……これには本当に驚いた。朝何時であろうがニコニコと笑みを絶やさず世話をしてくれる人々、これが真の国際人の姿なのかと思う。あまりの感激に「どうしてこういうことがさりげなく奉仕できるのか」と聞いたが、どの人も口を揃えて「こんな立派な国際大会がわれわれの街で開催されることは名誉であり誇りである。だから来て下さった方々には絶対に喜んで帰ってもらわなければならない。そのため市や州をあげて歓迎するのだ」と返事があった。ボランティア精神が身についていて、そうすることを当然と考える姿勢、これこそわれわれ日本人が学ばなければならないものではなかろうか。

来年のバルセロナ・オリンピックの予選を兼ねたハンドボールのアジア選手権、4年後のアジア大会と、今後わが街広島でも国際大会が次々と開かれる。その時、どこまで街が、国が、来広される方々のために歓迎できるか、名実ともに経済大国日本、国際都市広島を名乗るためにわれわれは何をしなければならないのか早急に真剣に考えるべきである。

今回選手村が設置されたのは、ロス・オリンピックの時の選手村となったカリフォルニア大学とともに太平洋岸で最も古い州立総合大学ワシントン大学のキャンパスである。このW. U. はアメリカでも最も美しい大学の一つとして知られ、校内にはゴシック風の図書館、音楽館、芸術館、野外ステージ等が大樹の中で優美を極めている。宿泊には同大学の学生寮がそのままあてられた。また飲食は24時間体制で食べ放題。なお余談になるが、サービスされる飲食はすべて最高のもので、今までアメリカで食べた経験のないほど大変美味しいものであった。

今回のシアトル遠征では国際大会のレベルの高さをまざまざと知らされたが、これまでに述べてきたような素晴らしい設備、食事、そして温かい心に囲まれた選手たちは、一人も落伍することなくのびのびとプレイができた。

過去6年間勝てなかったソウル・オリンピック銀メダルの韓国チームに大勝するなど善戦した。試合前監督から一言求められ、6年間勝ったことのない相手、韓国ではあるが畏縮せず善戦して欲しいという思いから「健康管理はオレがついているし安心して肉弾戦をやれ。そして勝ち試合を一つ見せてくれ」と発破をかけた。そのときの今までに見たことのない目つきと全身に漲っている力強さを頼もしく感じ、見事に応えてくれた選手たちと抱き合って感涙を共にしたものである。

その後選手たちはUSAカップ出場のためコロラドスプリングスへ、私は都合で同行できず空港で別れたが、韓国戦での勝利のためか選手たちは皆さわやかな自信に満ちたいい顔で見送ってくれた。

もともとハンドボールは7人で投げる、走る、捕球する。そしてスピードを要するバランスのとれた格闘技的スポーツである。それだけに選手には勿論、観戦者にも十分な醍醐味を味あわせてくれる反面、選手の日頃の健康管理が必須となってくる。だからスポーツドクターとしての基本はまず普段の生活の場と試合現場のどちらにおいても健康管理ができることである。これにはドクターが現場に出向くことによって選手とのコンタクトを深め、現場でより早急な適切な判断が重要となってくる。そのため'89年7月全日本ハンドボールナショナルチームのチームドクターに当院が選ばれて以来、'89年9月のアジア選手権には大森啓司医師、11月のオランダカップには山地善紀医師、'90年2月の世界選手権には米澤元実医師、そして今回のグッドウィルゲームズには私と、国際試合には必ず当院のスポーツドクターが帯同してきた。また8月のイランで開かれた世界ジュニア選手権には白形陽生医師、9月のアジア大会には敦賀一郎医師も同行した。

ハンドボールに無関係なわが病院の医師たちであったが、コートサイドで監督、コーチとともに興奮しながら応援、観戦しているうちに、ハンドボールの魅力にとりつかれたのも事実である。

当院は'89年7月に全日本ハンドボール協会のナショナルチームドクターの要請を受けた訳だが、これも偏に実業団No.1の実績を誇る湧永製薬ハンドボールチームのチームドクターとして、治療に健康管理にと当院が日頃から全面的に関与してきた賜物であろう。この期待に応えるべく選手一人一人のカルテを作成し、筋力トレーニング、栄養、精神面の三面指導を一段と強化したい。スポーツ奨励と言いながら、他の国に比べてスポーツドクター、トレーナー、栄養士の組織化が10年以上も遅れていることは、経済大国日本の名があるだけに悲しい。気合と努力だけでは勝てないところにきている。日本の選手が国際舞台でどんどん活躍するためには、実のあるスポーツドクターの早急な組織化を切望するものである。

DLT法によるシュート動作の解析

平岡秀雄（日本ハンドボール協会指導方法委員）
大西武三（日本ハンドボール協会指導方法委員長）
飯田信行（日本ハンドボール協会指導方法委員）
笹倉清則（日本ハンドボール協会指導方法委員）
柳　在忠（韓国ナショナルチーム男子監督）
田村修治（東海大学男子監督）

◆はじめに

スポーツ運動の動作は、瞬時に行われるものが多いので、その動作の客観的説明のための原理を視覚情報からだけで得ることは難しい。そこで、スポーツ運動を高速度映画やVTRで記録・分析することにより、動作解析のための客観的データを得てきた。

しかし、スポーツ運動が3次元の空間を移動するのに対して、これまでの多くの動作記録及び分析は、2次元の映像を基に行われてきた。したがって、そこで得たデータは運動を正確に伝えるものではなかった。

そこで、2台のカメラによる3次元の動作解析も試みられた。ところが、カメラの光軸が直交する位置にカメラを設置しなければならないなどの制約を受けるので、実際の試合場面の動作を分析するまでには至らなかった。

ところが、カメラの設置位置はある程度任意に行え、しかも正確な3次元座標値を得ることができるDLT法（Direct Liner Transformation Method）が開発された。つまり、このDLT分析法を用いると、競技場のスタンドなど任意な位置からの撮影でも、2台以上のカメラで同時に撮影すれば、正確な動作分析が可能となった。

そこで、1990年にソウルで開催された世界女子ハンドボール選手権大会に於ける試合中のシュート動作を分析することにより、DLT分析法の有効性を実証しようとした。

◆方法

(1) DLT法による3次元的測定の概要

①カメラ設置位置

シュート動作をカバーできるよう2台（あるいはそれ以上）のカメラを設置する。このとき、2台のカメラの光軸は直交しているのが望ましいが、光軸の角度が30度あれば良いといわれている。

②コントロールポイントの撮影

分析対象とする空間にリファレンスフレームを置き、コントロールポイントを撮影する。本測定では、ハンドボールコートのシュートゾーンの中央を測定対象地域とした。

5個のコントロールポイントがついたリファレンスフレームを2mおきに移動して撮影し、合計45個のコントロールポイントを得た（図1参照）。

③試合場面の撮影

コントロールポイントの撮影後は、カメラを固定しておかねばならない。フィルムやテープを交換する際には、カメラが動かないよう細心の注意をはらう。

④コントロールポイントからカメラ定数を決定する（画像のデジタイジング）

2台以上のカメラで撮影した画像（コントロールポイント）をパーソナルコンピューター（NEC PC9801）を介して画像上の座標を計測する。そして、最小二乗法による連立方程式により、カメラ定数を決定する。

⑤実空間座標をもとめる（画像のデジタイジング）

シュート動作の関節部位を座標化し、カメラ定数を用いて測定部位の実空間座標を求める。

⑥キネマティックス

身体部位の位置、速度、加速度、角度、角加速度などを計算する。

⑦ディスプレイ化

コンピューターグラフィックスやプロッターで表示する。

(2) 分析対象

1990年に韓国ソウルで開催された女子世界選手権大会における韓国選手とユーゴ選手の試合中

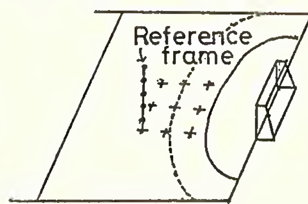


図1　コントロールポイント位置

のシュート動作を例に動作解析をした。

(3) 分析観点

アジアを代表する韓国選手とヨーロッパを代表するユーゴの選手のジャンプシュート動作を比較した。本報告は、試合中の動作をどのような観点から分析できるかを知らせるためのもので、大陸間の特徴の違いを明らかにするものではない。本報告では、シュート時の指先・手首・肘の経時的速度変化、及び身体の捻りに着目して分析した。

◆結果と考察

(1) スティックピクチャー

図2と図3は3次元解析で得た座標を側方からの2次元座標に変換し、各関節部位を線で結んだものである。実線部分が体幹と右腕右脚を表わし、点線が左腕と左脚を表わしている。図2が韓国選手のもので、図3がユーゴ選手のものである。形態的に劣る韓国選手がユーゴ選手に比べ上方に跳躍している様子が推察できる。

(2) 身体の捻りについて

図4と図5は、左右腸骨稜を結んだ線が、ゴールラインと直交する線とのなす角度（図6参照）を示したものである。

腰及び肩の角度が90度の場合、ゴール面に正対していることを意味する。また、腰角度と肩角度に差がある場合、体幹が大きく捻られているといえる。

肩角度の経時的変化は、韓国選手とユーゴ選手の間に大きな変化は見られない。ところが、腰の角度に大きな違いが見られる。

韓国選手は、フォワードスイング開始まで腰角度をあまり変化させず、肩とほぼ同時期に急激に回転させる。一方、ユーゴ選手の腰角度は、ボールリリースまで徐々に回転する。

以上の結果から、韓国選手のシュート動作はゴールに対して横を向き、身体を捻りながらフォワードスイングを行っているといえる。ユーゴ選手はバックスイング時に体幹の捻りをつくり、フォワードスイング時に捻り戻しているとい

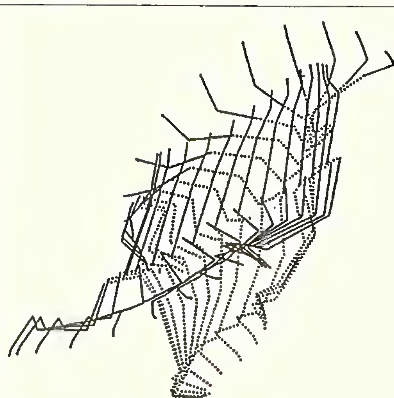


図2　韓国選手のシュート動作

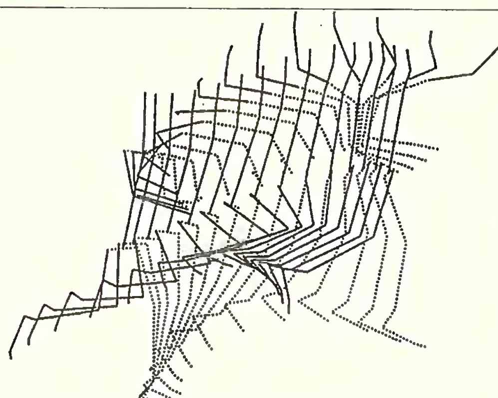


図3　ユーゴ選手のシュート動作

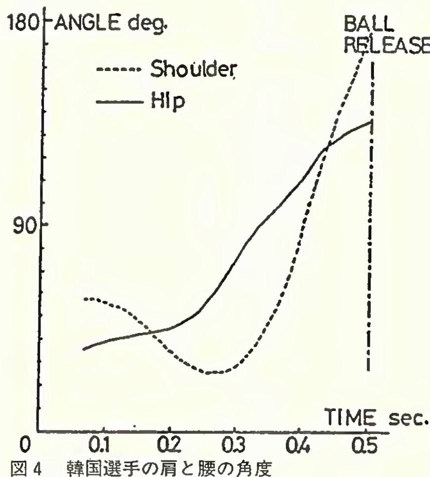


図4　韓国選手の肩と腰の角度

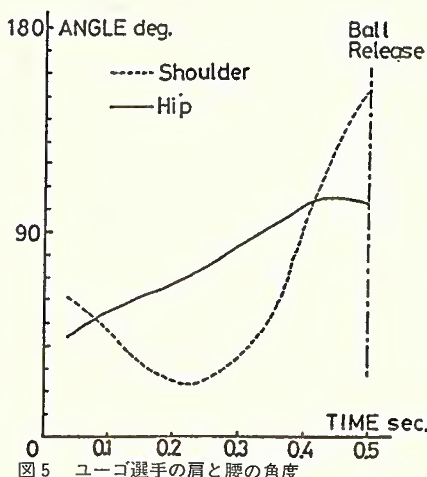


図5　ユーゴ選手の肩と腰の角度

える。
　つまり韓国選手は身体を捻ってボールを投げるのに対し、ユーゴ選手は身体の捻り戻しでボールを投げていると特徴づけることができる。

(3)関節部位の速度変化について

　韓国選手（図7）の指先・手首・肘の速度は、ユーゴ選手に比べ急激に加速しているのがわかる。また、図5で示したように、ユーゴ選手の投動作が捻り戻しによることから、バックスイング終了時に指先と手首の速度が肘の速度を下回った。今回、ボールの速度を測定しなかったが、一般的にボールリリース時の指先速度とボールの速度が一致することから、両者ともほぼ同様の22ｍ／秒であったと推察できる。

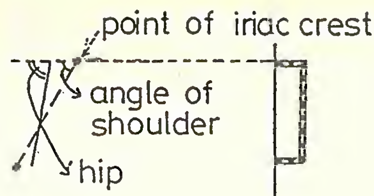


図6　肩と腰の角度

◆まとめ

　今回の報告では、3次元動作解析の有効性を示すため、韓国選手とユーゴ選手のシュート動作を比較した。上記の結果から、3次元解析の有効性は明白である。特に3次元解析の場合、競技場のスタンドなど任意な場所でのカメラ撮影が可能なことである。しかもその測定精度は、従来の分析方法より向上したといえる。
　従来不可能であった試合中の動作の解析が可能となったので、今後さまざまな観点からの動作解析が行われるものと確信する。
　ここでは角度と速度の変化から投動作を比較した。しかし、角速度や角運動量またエネルギーやパワーを算出することにより、動作のより詳細な資料を得ることが可能であることはいうまでもない。

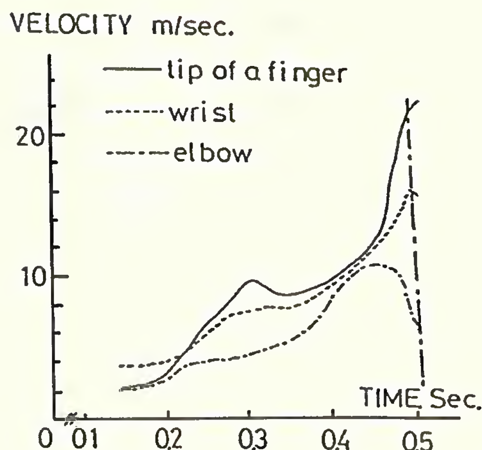


図7　韓国選手の速度曲線

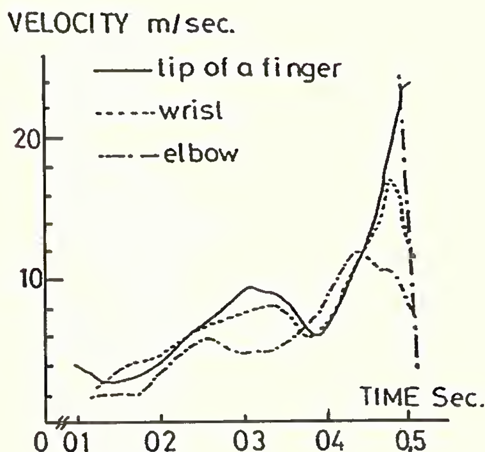


図8　ユーゴ選手の速度曲線

各地学生春季リーグ戦結果

北海道学生

▼男子1部

小樽商大 22－19 函教大
函館大 54－8 釧教大
学園大 22－18 北大
函館大 54－22 函教大
小樽商大 26－10 学園大
北大 40－14 釧教大
函館大 34－11 小樽商大
北大 33－21 函教大
学園大 34－22 釧教大
北大 29－14 小樽商大
函館大 39－9 学園大
函教大 39－22 釧教大
小樽商大 25－11 釧教大
学園大 28－24 函教大
函館大 30－9 北大

〔順位〕①函館大②北海道大③小樽商科大④北海道学園大⑤北海道教育大函館分校⑥北海道教育大釧路分校

▼男子2部

旭教大 34－14 北大医
北星大 24－23 北工大
札大 37－17 室工大
北教大 25－24 北工大
室工大 32－18 北大医
札大 29－26 北星大
旭教大 30－13 室工大
北星大 32－14 北大医
北工大 27－24 札大
旭教大 25－23 北星大
北工大 29－26 室工大
札大 37－8 北大医
旭教大 26－22 札大
北工大 35－18 北大医
室工大 38－21 北星大

〔順位〕①北海道教育大旭川分校②札幌大③北見工業大④北星学園大⑤室蘭工業大⑥北海道大医学部

▼男子3部

釧公大 40－21 学園北見大
札学大 21－21 道都大
釧公大 35－35 道工大
道都大 26－19 釧公大
札学大 30－26 道工大
道都大 45－3 学園北見大
道工大 30－17 学園北見大
釧公大 28－28 札学大
道都大 42－14 道工大
札学大 41－12 学園北見大

〔順位〕①道都大②札幌学院大③釧路公立大④北海道工業大⑤北海学園北見大

▼女子

旭教大 16－16 北星大
道女短大 11－10 北星大
道女短大 21－18 旭教大

〔順位〕①北海道女子短大②北星学園大③北海道教育大学旭川分校

東北学生

▼男子1部

東北福祉大 23－23 東北学院大
仙台大 25－25 東北学院大
東北学院大 34－23 東北大
東北学院大 35－8 福島大
岩手大 23－17 東北学院大
東北福祉大 23－20 仙台大
東北福祉大 21－20 東北大
東北福祉大 26－16 福島大
東北福祉大 25－19 岩手大
仙台大 28－16 東北大
仙台大 30－14 福島大
仙台大 21－15 岩手大
東北大 18－17 福島大
岩手大 24－14 東北大
岩手大 25－9 福島大

〔順位〕①東北福祉大②仙台大③岩手大④東北学院大⑤東北大⑥福島大

▼男子2部

山形大 22－16 宮教大
山形大 20－17 弘前大
山形大 37－12 日大
山形大 29－25 秋田大
山形大 39－14 北里大
弘前大 27－18 宮教大
宮教大 34－15 日大
秋田大 30－20 宮教大
宮教大 32－20 北里大
弘前大 45－14 日大
弘前大 31－19 秋田大
弘前大 38－16 北里大
秋田大 43－14 日大
北里大 29－21 日大
秋田大 36－15 北里大

〔順位〕①山形大②弘前大③秋田大④宮城教育大⑤北里大⑥日本大

▼女子

東北福祉大 27－13 福島大
東北福祉大 37－14 岩手大
東北福祉大 46－3 宮教大
福島大 24－12 岩手大
福島大 35－4 宮教大
岩手大 33－7 宮教大

〔順位〕①東北福祉大②福島大③岩手大④宮城教育大

関東学生

▼男子1部

早大 25－21 日大
国際武道大 20－19 国士館大
筑波大 25－21 法大
日体大 33－14 中大
中大 24－19 法大
国士館大 18－18 日大
早大 29－21 国際武道大
日体大 24－21 筑波大
法大 29－24 国際武道大
早大 34－23 中大
日体大 30－28 日大
筑波大 27－25 国士館大
日大 22－17 法大
筑波大 26－23 早大
中大 31－25 国士館大
日体大 24－23 国際武道大
日体大 28－25 国士館大

中　大 24-17 国際武道大
筑波大 24-19 日　大
早　大 26-23 法　大
中　大 25-17 日　大
筑波大 25-18 国際武道大
国士館大 27-20 法　大
早　大 21-18 日体大
日　大 19-18 国際武道大
中　大 27-22 筑波大
法　大 30-23 日体大
早　大 26-26 国士館大

〔順位〕①早稲田大②日本体育大③筑波大④中央大⑤日本大⑥国士館大⑦法政大⑧国際武道大

▼男子2部

明　大 28-12 東経大
順　大 26-13 拓　大
慶　大 30-20 明星大
東学大 25-23 東海大
順　大 36-17 東学大
順　大 28-13 東経大
東海大 26-23 明星大
明　大 26-19 拓　大
東学大 28-19 慶　大
拓　大 14-18 慶　大
東海大 28-14 東経大
明　大 34-23 明星大
東海大 29-25 拓　大
慶　大 21-15 東経大
順　大 43-8 明星大
明　大 25-21 東学大
東経大 24-19 東学大
順　大 33-21 慶　大
明　大 30-22 東海大
拓　大 23-20 明星大
明星大 21-20 東経大
拓　大 24-22 東学大
順　大 25-20 東海大
明　大 33-21 慶　大
拓　大 27-20 東経大
明星大 36-27 東学大
東海大 25-18 慶　大
順　大 29-24 明　大

〔順位〕①順天大②明治大③東海大④拓殖大⑤東京学芸大⑥慶応大⑦明星大⑧東京経済大

▼男子3部

武工大 36-26 専　大
横商大 32-17 千葉大
東　大 30-16 茨城大
青学大 28-16 東工大
東　大 20-19 専　大
東工大 20-19 横商大
青学大 35-25 千葉大
武工大 32-21 茨城大
東工大 21-20 東　大
武工大 32-22 千葉大
横商大 19-15 専　大
青学大 30-19 茨城大
武工大 24-22 東工大
青学大 31-23 専　大
横商大 21-16 茨城大
東　大 28-22 千葉大
青学大 23-22 東　大
横商大 19-13 武工大
専　大 26-23 東工大
茨城大 27-24 千葉大
青学大 24-21 武工大
専　大 35-25 千葉大
東工大 32-19 茨城大
東　大 16-15 横商大
千葉大 24-19 東工大
武工大 27-20 東　大
茨城大 28-24 専　大
青学大 17-16 横商大

〔順位〕①青山学院大②武蔵工業大③横浜商科大④東京大⑤東京工業大⑥専修大⑦茨城大⑧千葉大

▼男子4部

帝京大 12-0 駒　大
創価大 25-24 東理大
一橋大 27-13 芝工大
上智大 12-0 横国大
東理大 28-12 上智大
創価大 12-0 駒　大
一橋大 12-0 横国大
帝京大 23-12 芝工大
一橋大 12-0 駒　大
芝工大 16-13 上智大
帝京大 23-18 東理大
創価大 12-0 横国大
一橋大 24-12 上智大
創価大 19-19 帝京大
横国大 25-18 駒　大
東理大 27-18 芝工大
東理大 12-0 駒　大
創価大 21-18 上智大
一橋大 18-18 帝京大
横国大 34-10 芝工大
創価大 23-19 一橋大
横国大 30-26 東理大
芝工大 12-0 駒　大
帝京大 29-15 上智大
一橋大 29-20 東理大
上智大 12-0 駒　大
創価大 19-13 芝工大
横国大 27-18 帝京大

〔順位〕①創価大②一橋大③帝京大④横浜国立大⑤東京理科大⑥上智大⑦芝浦工業大⑧駒沢大

▼男子5部

明学大 22-9 文教大
防衛大 22-19 東農大
東洋大 39-26 横市大
産能大 30-21 立　大
防衛大 26-14 文教大
東洋大 30-16 明学大
横市大 24-23 産能大
東農大 29-20 立　大
防衛大 16-14 明学大
横市大 26-10 文教大
産能大 24-21 東農大
東農大 24-21 立　大
立　大 18-14 文教大
産能大 28-24 明学大
横市大 30-27 防衛大
東農大 30-22 東洋大
防衛大 18-16 立　大
横市大 33-24 明学大
東農大 29-12 文教大
東洋大 26-24 産能大
防衛大 21-20 産能大
東洋大 25-15 文教大
横市大 23-22 立　大
東農大 30-20 明学大
産能大 20-18 文教大
東洋大 33-14 防衛大
東農大 31-19 横市大
立　大 25-18 明学大

〔順位〕①東洋大②東京農業大③横浜市立大④防衛大⑤産能大⑥立教大⑦明治学院大⑧文教大

▼男子6部

神　大 23-21 亜　大
成蹊大 29-20 埼玉大
大東大 23-20 独協大
都留文大 25-10 玉川大
成蹊大 18-18 神　大
大東大 32-21 埼玉大
独協大 40-14 玉川大
亜　大 25-14 都留文大
大東大 26-21 神　大
埼玉大 36-21 玉川大
亜　大 29-18 独協大
成蹊大 16-14 都留文大
神　大 12-0 玉川大
亜　大 31-20 埼玉大
独協大 24-19 成蹊大
大東大 24-12 都留文大
成蹊大 31-20 亜　大
大東大 12-0 玉川大
神　大 27-21 埼玉大
都留文大 22-15 独協大
亜　大 40-9 玉川大
大東大 21-20 成蹊大
神　大 27-15 都留文大
独協大 23-23 埼玉大
大東大 27-22 亜　大
成蹊大 21-8 玉川大
独協大 22-20 神　大
埼玉大 23-18 都留文大

〔順位〕①大東文化大②成蹊大③神奈川大④亜細亜大⑤独協大⑥埼玉大⑦都留文化大⑧玉川大

▼男子7部Aグループ

工芸大 21-20 杏林大
日工大 36-12 外語大
情報大 23-17 武蔵大
工芸大 31-12 帝技大
武蔵大 15-11 杏林大

工芸大 38－16 日工大
情報大 26－16 外語大
工芸大 34－18 外語大
武蔵大 21－9 帝技大
情報大 22－19 日工大
杏林大 24－18 外語大
情報大 21－11 帝技大
工芸大 12－0 武蔵大
杏林大 31－11 日工大
杏林大 25－6 帝技大
武蔵大 27－11 外語大
工芸大 19－16 情報大
日工大 30－10 帝技大
武蔵大 18－12 日工大
情報大 14－13 杏林大
外語大 25－19 帝技大

▼男子7部Bグループ

農工大 28－12 工科大
都立大 27－13 東電大
群馬大 16－10 関学大
千工大 32－8 工科大
都立大 20－11 関学大
東電大 17－14 工科大
千工大 18－10 農工大
群馬大 21－13 東電大
都立大 32－12 工科大
東電大 15－14 農工大
千工大 23－6 関学大
群馬大 24－8 工科大
農工大 16－10 関学大
農工大 17－16 都立大
千工大 19－13 群馬大
東電大 18－15 関学大
千工大 26－21 都立大
都立大 22－16 群馬大
千工大 30－12 東電大
関学大 26－17 工科大
農工大 19－12 群馬大

▼男子7部入れ替え決定戦

工芸大 24－16 千工大
情報大 25－23 都立大
千工大 23－16 情報大

（総合順位）①東京工芸大②千葉工業大③東京情報大④東京都立大

▼女子1部

東女体大 39－8 東学大
筑波大 27－16 東海大
日体大 24－16 日女体大
東女体大 34－10 東学大
筑波大 29－14 東海大
日体大 33－11 日女体大
日体大 31－11 東学大
筑波大 26－19 日女体大
東女体大 42－13 東海大
日体大 36－10 東学大
筑波大 25－24 日女体大
東女体大 37－15 東海大
東海大 16－13 東学大
東女体大 29－17 日女体大
日体大 22－22 筑波大
東海大 18－13 東学大
東女体大 26－20 日女体大
日体大 25－23 筑波大
日女体大 16－15 東海大
筑波大 32－17 東学大
東女体大 20－20 日体大
日女体大 28－8 東海大
筑波大 45－12 東学大
東女体大 23－15 日体大
日女体大 29－11 東学大
日体大 31－16 東海大
東女体大 29－16 筑波大
日女体大 30－12 東学大
日体大 30－8 東海大
東女体大 25－23 筑波大

（順位）①東京女子体育大②日本体育大③筑波大④日本女子体育大⑤東海大⑥東京学芸大

▼女子2部

千明短大 34－5 都留文大
茨城大 41－9 横国大
玉川大 37－25 千葉大
大東大 36－11 横国大
千明短大 38－8 横国大
千明短大 27－11 大東大
茨城大 33－14 千葉大
茨城大 41－12 都留文大
千葉大 23－20 都留文大
都留文大 19－9 横国大
玉川大 37－10 横国大
玉川大 32－8 都留文大
茨城大 18－16 大東大
千明短大 25－18 千葉大
玉川大 25－24 茨城大
千葉大 23－13 横国大
大東大 25－20 千葉大
千明短大 25－11 茨城大
都留文大 15－12 大東大
玉川大 17－10 大東大
千明短大 38－8 横国大

（順位）①千葉明徳短大②玉川大③茨城大④大東文化大⑤千葉大⑥都留文化大⑦横浜国立大

東海学生

▼男子1部

中京大 31－16 愛教大
中部大 30－24 愛学大
名城大 23－15 愛知大
中京大 26－23 愛知大
中部大 15－13 名城大
愛学大 32－15 愛教大
中京大 27－22 愛学大
中部大 29－14 愛知大
名城大 36－17 愛教大
名城大 24－21 中京大
中部大 31－15 愛教大
愛知大 21－20 愛学大
愛知大 27－20 愛教大
名城大 29－21 愛学大
中部大 33－22 中京大

（順位）①中部大②名城大③中京大④愛知大⑤愛知学院大⑥愛知教育大

▼男子2部

名経大 30－15 静岡大
名経大 27－16 岐阜大
南山大 25－19 名工大
名経大 27－18 名工大
静岡大 22－19 岐阜大
名経大 25－23 南山大
名大 38－21 名工大
南山大 32－23 静岡大
名大 45－16 岐阜大
南山大 47－10 岐阜大
名経大 25－17 静岡大
名工大 32－27 静岡大
名大 32－20 名経大
名工大 30－20 岐阜大
名大 23－23 南山大

（順位）①名古屋大②名古屋経済大③南山大④名古屋工業大⑤静岡大⑥岐阜大

▼男子3部

名学大 28－18 豊田工専
日福大 26－21 三重大
名学大 38－14 豊橋技科大
滋賀大 25－22 三重大
日福大 32－22 豊田工専
名学大 37－29 三重大
日福大 33－22 豊橋技科大
名学大 27－17 滋賀大
滋賀大 20－18 豊橋技科大
豊田工専 28－21 三重大
日福大 21－20 滋賀大
三重大 32－29 豊橋技科大
豊田工専 19－15 滋賀大
日福大 21－19 名学大
豊田工専 20－18 豊橋技科大

〔順位〕①日本福祉大②名古屋学院大③豊田工業高等専門学校④滋賀大⑤三重大⑥豊橋技術科学大

▼男子4部

愛医大 22－17 朝日大
朝日大 12－0 豊工大
愛医大 29－15 東海大
愛医大 15－14 常葉大
常葉大 26－12 東海大
朝日大 27－11 東海大
常葉大 14－10 朝日大
愛医大 38－13 豊工大
東海大 32－17 豊工大
常葉大 26－14 豊工大

〔順位〕①愛知医科大②常葉学園大③朝日大④東海大海洋学部⑤豊田工大

▼女子1部

中京大 28－5 南山大
中京女大 45－9 愛教大
中京大 34－3 愛教大
中京女大 39－7 南山大
中京女大 21－17 中京大
愛教大 15－10 南山大
中京大 35－6 南山大
中京女大 41－13 愛教大
中京大 38－4 愛教大
中京女大 44－6 南山大
愛教大 15－12 南山大
中京女大 22－19 中京大

〔順位〕①中京女子大②中京大③愛知教育大④南山大

▼女子2部

常葉大 18－7 静岡大
三重大 20－20 日福大
三重大 9－5 常葉大
日福大 21－17 静岡大
岐阜大 28－17 静岡大
岐阜大 12－9 常葉大
日福大 17－9 常葉大
三重大 20－12 岐阜大
三重大 17－13 静岡大
日福大 16－13 岐阜大

〔順位〕①三重大②日本福祉大③岐阜大④常葉学園大⑤静岡大

関西学生

▼男子1部

大体大 33－20 桃山大
大経大 33－9 立命大
京産大 23－15 同大
同大 30－22 立命大
京産大 33－21 桃山大
大経大 38－13 関大
大体大 33－11 関大
大経大 32－16 同大
桃山大 31－24 立命大
京産大 28－12 関大
大体大 30－17 立命大
同大 28－20 桃山大
大経大 25－15 京産大
立命大 23－20 関大
大経大 40－18 桃山大
大体大 40－15 同大
桃山大 20－20 関大
大体大 37－21 京産大
京産大 24－16 立命大
同大 22－16 関大
大体大 26－22 大経大

〔順位〕①大阪体育大②大阪経済大③京都産業大④同志社大⑤桃山学院大⑥立命館大⑦関西大

▼男子2部

近大 12－0 京教大
近大 31－16 大教大
近大 29－21 仏教大
近大 34－27 天理大
近大 26－18 関外大
近大 25－22 京大
大教大 28－14 京教大
仏教大 31－22 京教大
京教大 21－20 天理大
京教大 19－19 関外大
京教大 21－18 京大
大教大 35－22 仏教大
大教大 26－15 天理大
大教大 20－14 関外大
大教大 34－20 京大
仏教大 28－20 天理大
関外大 28－18 仏教大
仏教大 29－21 京大
天理大 2[illegible]－18 関外大
京大 21－17 天理大
関外大 22－22 京大

〔順位〕①近畿大②大阪教育大③仏教大④京都教育大⑤関西外語大⑥京都大⑦天理大

▼男子3部

神院大 39－25 和大
大市大 25－14 和大
神大 20－19 和大
和大 24－23 大府大
阪大 27－19 和大
京工大 32－25 和大
神院大 28－15 大市大
神院大 28－16 神大
神院大 32－15 大府大
阪大 24－23 神院大
神院大 33－20 京工大
神大 19－16 大市大
大府大 29－20 大市大
大市大 22－11 阪大
大大 24－23 京工大
神大 27－12 大府大
神大 29－15 阪大
神大 24－22 京工大
阪大 26－24 大府大
京工大 35－19 大府大
阪大 23－23 京工大

〔順位〕①神戸学院大②神戸大③大阪大④大阪市立大⑤京都工芸繊維大⑥和歌山大⑦大阪府立大

▼男子4部

龍谷大 27－26 関学大
奈良大 25－22 龍谷大
甲南大 28－27 龍谷大
龍谷大 47－23 奈教大

龍谷大 31—18 滋賀大
龍谷大 21—18 姫独大
関学大 30—19 奈良大
関学大 24—23 甲南大
関学大 38—25 奈教大
関学大 35—18 滋賀大
関学大 30—24 姫独大
甲南大 27—18 奈良大
奈良大 31—25 奈教大
奈良大 21—21 滋賀大
姫独大 30—29 奈良大
甲南大 34—18 奈教大
甲南大 37—13 滋賀大
甲南大 31—21 姫独大
滋賀大 36—24 奈良大
姫独大 37—24 奈教大
姫独大 36—18 滋賀大
（順位）①関西学院大②甲南大③龍谷大④姫路独協大⑤奈良大⑥滋賀大⑦奈良教育大

▼**男子5部**

大産大 26—17 大院大
大院大 25—15 追手門大
大院大 27—12 神戸商大
大院大 28—17 大工大
大院大 34—19 姫工大
大薬大 31—20 大院大
大産大 26—14 追手門大
大産大 28—15 神戸商大
大産大 24—15 大工大
大産大 33—15 姫工大
大産大 23—16 大薬大
追手門大 28—19 神戸商大
追手門大 21—21 大工大
追手門大 23—11 姫工大
追手門大 20—15 大薬大
大工大 23—22 神戸商大
神戸商大 19—13 姫工大
神戸商大 24—17 大薬大
大工大 21—11 姫工大
大工大 21—20 大薬大
大薬大 19—10 姫工大
（順位）①大阪産業大②大阪学院大③追手門学院大④大阪工業大⑤大阪薬科大⑥神戸商船大⑦姫路工業大

▼**男子6部**

京府大 26—15 兵教大
兵教大 21—21 大外大
京外大 29—10 兵教大
大歯大 19—8 兵教大
大外大 18—10 京府大
京外大 27—20 京府大
大歯大 20—16 京府大
大外大 19—15 京外大
大歯大 16—10 大外大
京外大 19—19 大歯大
（順位）①大阪歯科大②大阪外語大③京都外語大④京都府立大⑤兵庫教育大

▼**女子1部**

大体大 35—11 京教大
仏教大 19—18 関外大
武庫川大 39—11 仏教大
天理大 30—14 関外大
大教大 23—21 京教大
天理大 36—6 京教大
武庫川大 27—13 大教大
大体大 33—8 仏教大
大体大 29—21 大教大
天理大 38—15 仏教大
武庫川大 42—12 関外大
京教大 16—15 関外大
大教大 25—17 仏教大
大教大 22—21 関外大
武庫川大 45—9 京教大
大体大 27—12 天理大
京教大 22—21 仏教大
大体大 36—10 関外大
武庫川大 23—15 天理大
天理大 14—9 大教大
武庫川大 20—15 大体大
（順位）①武庫川女子大②大阪体育大③天理大④大阪教育大⑤京都教育大⑥仏教大⑦関西外語大

▼**女子2部**

立命大 22—16 成蹊短大
成蹊短大 12—10 関大
関学大 15—14 成蹊短大
成蹊短大 26—14 滋賀大
成蹊短大 20—11 大薬大
成蹊短大 14—13 甲南大
立命大 17—8 関大
立命大 29—8 関学大
立命大 27—4 滋賀大
立命大 25—13 大薬大
立命大 31—13 甲南大
関学大 12—10 関大
関大 12—6 滋賀大
関大 16—6 大薬大
関大 15—13 甲南大
関学大 12—7 滋賀大
関学大 16—9 大薬大
甲南大 12—11 関学大
滋賀大 13—12 大薬大
甲南大 12—11 滋賀大
甲南大 16—14 大薬大
（順位）①立命館大②関西学院大③大阪成蹊女短大④関西大⑤甲南大⑥滋賀大⑦大阪薬科大

▼**女子3部**

神戸大 7—6 和大
神戸大 10—10 龍谷大
神戸大 20—6 京女大
神戸大 16—4 奈女大
神戸大 21—0 追手門大
神戸大 17—7 兵教大
龍谷大 18—5 和大
和大 9—8 京女大
奈女大 12—8 和大
和大 13—6 追手門大
和大 12—10 兵教大
龍谷大 22—0 京女大
龍谷大 28—1 奈女大
龍谷大 19—4 追手門大
龍谷大 25—4 兵教大
京女大 7—7 奈女大
京女大 9—6 追手門大
京女大 14—11 兵教大
奈女大 19—8 追手門大
奈女大 10—9 兵教大
兵教大 8—7 追手門大
（順位）①神戸大②龍谷大③奈良女子大④和歌山大⑤京都女子大⑥兵庫教育大⑦追手門学院大

▼**女子4部**

大外大 23—17 大府大
園田女大 15—12 大府大
奈教大 15—11 大府大
大府大 12—0 京府大
大外大 19—12 園田女大
奈教大 28—13 大外大
大外大 12—0 京府大
奈教大 .5—13 園田女大

園田女大	13－2	京府大
奈教大	27－2	京府大

〔順位〕①奈良教育大②大阪外語大③園田学園女大④大阪府立大⑤京都府立大

中四国学生

▼男子1部

愛姫大	16－15	山口大
広島大	13－12	山口大
山口大	27－18	松山大
山口大	20－12	香川大
愛姫大	12－11	広島大
愛姫大	20－15	松山大
愛姫大	24－12	香川大
松山大	23－17	広島大
広島大	18－13	香川大
香川大	20－16	松山大

〔順位〕①愛姫大②山口大③広島大④松山大⑤香川大

▼男子2部

広島経大	15－12	広島修道大
広島経大	19－18	徳山大
岡山大	15－11	広島経大
広島経大	24－21	高知大
徳山大	24－21	広島修道大
岡山大	27－14	広島修道大
高知大	20－19	広島修道大
岡山大	28－19	徳山大
徳山大	22－19	高知大
岡山大	27－22	高知大

〔順位〕①岡山大②広島経済大③徳山大④高知大⑤広島修道大

▼男子3部

徳島大	26－25	島根大
島根大	19－18	近畿大
広島工大	24－21	島根大
鳥取大	17－16	島根大
徳島大	21－21	近畿大
広島工大	27－19	徳島大
鳥取大	23－15	徳島大
広島工大	22－15	近畿大
近畿大	23－19	鳥取大
広島工大	26－24	鳥取大

〔順位〕①広島工業大②鳥取大③近畿大④徳島大⑤島根大

▼女子1部

広島大	18－12	岡山短大
広島大	15－6	愛媛大
広島大	13－12	高知大
岡山短大	13－9	愛媛大
岡山短大	22－17	高知大
愛媛大	21－7	高知大

〔順位〕①広島大②岡山県立短大③愛媛大④高知大

▼女子2部

山陽短大	19－2	岡山女短大
山陽短大	14－14	鳴門教大
岡山大	26－9	山陽短大
鳴門教大	35－2	岡山女短大
岡山大	39－4	岡山女短大
岡山大	26－12	鳴門教大

〔順位〕①岡山大②鳴門教育大③山陽学園短大④岡山女短大

山口県学生

山口大本部	29－19	山口大医学部
徳山大	32－13	徳山工専
山口大本部	26－14	宇部工専
山口大医学部	37－15	徳山工専
徳山大	27－14	宇部工専
徳山工専	23－22	宇部工専
徳山大	27－17	山口大医学部
山口大本部	31－11	徳山工専
山口大医学部	28－16	宇部工専
山口大本部	22－10	徳山大

〔順位〕①山口大本部②徳山大③山口大医学部④徳山工業高等専門学校⑤宇部工業高等専門学校

福岡県学生

▼男子1部

福岡大	41－19	九産大
福岡大	32－17	福教大
福岡大	39－20	長崎大
福岡大	25－21	熊本大
福岡大	25－20	東和大
東和大	44－13	九産大
東和大	25－19	長崎大
東和大	30－18	熊本大
福教大	23－21	九産大
長崎大	24－18	福教大
熊本大	29－18	福教大
熊本大	33－18	長崎大
九産大	32－23	長崎大
熊本大	25－18	九産大

〔順位〕①福岡大②東和大②熊本大④長崎大⑤福岡教育大⑥九州産業大

▼男子2部

西南大	21－14	九大
九大	24－9	九工大
久工大	27－22	九大
九大	34－16	長総大
西南大	22－21	久工大
西南大	37－8	九工大
西南大	22－15	長総大
久工大	30－24	長総大
長総大	31－13	九工大

〔順位〕①西南学院大②久留米工業大③九州大④長崎総合科学大⑤九州工業大

▼男子3部

産医大	25－14	共立大
共立大	30－14	西工大
共立大	26－15	福工大
共立大	41－20	一経大
福工大	28－20	西工大
産医大	21－18	福工大
福工大	24－19	一経大
産医大	28－25	西工大
産医大	31－11	一経大
西工大	25－21	一経大

〔順位〕①産業医科大②九州共立大③福岡工業大④西日本工業大⑤第一経済大

▼女子

福教大	39－17	長崎大
福岡大	23－19	福教大
福教大	31－13	九女大
福教大	35－12	福短大
福岡大	23－13	九女大
福岡大	37－9	長崎大
福岡大	20－12	福短大
九女大	33－13	長崎大
九女大	26－11	福短大
福短大	13－12	長崎大

〔順位〕①福岡大②福岡教育大③九州女子大④東海福岡短大⑤長崎大

各地の記録から・・・

東北

青森県春季社会人

（4月13、14日／七戸町立体育館）

〈男子〉

▼1回戦
野辺地7B 27－12 北里大愛好
海自2航A 36－12 七戸ユニオンB
野辺地7A 41－19 海自大湊
弘前大 22－18 海自2航B

▼2回戦
青森マスターズ 29－23 野辺地クB
青森ク 35－24 海自2航A
野辺地クA 19－17 青商ク
七戸ユニオンA 29－23 弘前大

▼準決勝
青森マスターズ 33－31 青森ク
野辺地クA 32－24 七戸ユニオンA

▼決勝
野辺地クA 32（16－12、16－16）28 青森マスターズ

〈女子〉

▼1回戦
MKC 18－16 あすなろク
青森中央ク 15－9 野辺地ク

▼決勝
青森中央ク 21（9－4、12－6）10 MKC

宮城県春季選手権

（4月18～21日／仙台市体育館）

〈一般男子〉

▼1回戦
東北大 20－12 宮教大
YKKク 30－9 仙台電波高専
宮城教員 36－21 東北電力

▼2回戦
学院大OB 30－22 東北大
仙台大 23－19 育英ク
学院大 35－17 YKKク
福祉大 25－21 宮城教員

▼準決勝
学院大OB 22－20 仙台大
福祉大 26－20 学院大

▼3位決定戦
学院大 22－18 仙台大

▼決勝
学院大OB 26（11－12、15－10）22 福祉大

〈高校男子〉

▼1回戦
古川商 27－19 学院榴ケ岡
宮城広瀬 18－15 宮城水産
仙台 29－17 塩釜
仙台商 12－11 仙台一
仙台育英 36－10 泉館山
古川 26－13 佐沼
仙台東 14－11 仙台向山
東北電子工 22－15 宮城工
泉松陵 20－7 登米
仙台二 32－3 一迫商
築館 20－15 名取北

▼2回戦
古川工 31－16 古川商
仙台 27－5 宮城広瀬
仙台商 30－4 東北
仙台育英 19－18 仙台西
仙台南 27－17 古川
仙台東 29－17 東北電子工
泉松陵 16－12 仙台二
仙台三 29－8 築館

▼3回戦
古川工 27－19 仙台
仙台育英 19－6 仙台商
仙台南 24－19 仙台東
仙台三 17－12 泉松陵

▼準決勝
古川工 35－18 仙台育英
仙台南 20－14 仙台三

▼3位決定戦
仙台三 22－14 仙台育英

▼決勝
古川工 29（16－7、13－13）20 仙台南

〈高校女子〉

▼1回戦
聖和学園 15－7 宮二女
仙台女商 29－1 築館女
宮三女 27－16 佐沼
朴沢女 16－8 塩釜女
古川商 38－2 宮城広瀬
宮一女 20－4 仙台東
古川女 18－8 飯野川
涌谷 24－3 仙台西

▼3回戦
聖和学園 26－10 仙台女商
朴沢女 17－14 宮三女
古川商 22－17 宮一女
涌谷 17－9 古川女

▼準決勝
聖和学園 25－15 朴沢女
古川商 14－13 涌谷

▼3位決定戦
朴沢女 16－13 涌谷

▼決勝
聖和学園 24（13－6、11－9）15 古川商

群馬県中体連1年生強化大会

（3月30、31日／富岡南中）

〈男子〉

▼1回戦
甘楽二 23－20 東根一（山形）
玉造 21－17 藤岡南
（茨城）高井戸 31－7 富岡南
（東京）藤岡北 20－10 矢中
尾花沢 17－7 相生
（山形）南八幡 16－2 富岡西
富岡東 25－1 下仁田東

▼2回戦
富岡 16－6 甘楽二
南八幡 15－12 玉造
高井戸 22－6 藤岡北
富岡東 23－5 尾花沢

▼準決勝
富岡 17－9 南八幡
高井戸 12－10 富岡東

▼3位決定戦
富岡東 20－12 南八幡

▼決勝
富岡 17（6－5、11－9）14 高井戸

〈女子〉

▼1回戦
富岡 16－5 矢中
高井戸 9－5 相生
（東京）富岡南 22－1 高南
富岡東 20－6 東根一（山形）

▼準決勝
富岡 9－2 高井戸
富岡南 7－5 富岡東

▼3位決定戦
富岡東 15－7 高井戸

▼決勝
富岡 10（7－3、3－2）5 富岡南

第9回千葉県中学春季大会

（4月28、29日、5月3日／柏市立逆井中学）

〈男子〉

▼1回戦
福栄 36－6 入船
若松 21－6 野田一
東邦 22－10 木間ケ瀬
柏南 31－9 葛飾
花園 42－3 大州
河原塚 18－12 南流山
逆井 25－1 誉田

▼2回戦
妙典 30－8 福栄

東邦 18-9 若松
柏南 9-6 花園
逆井 25-9 河原塚
▼準決勝
妙典 20-9 東邦
逆井 20-7 柏南
▼3位決定戦
柏南 11-10 東邦
▼決勝
妙典 15（8-7、6-5）11 逆井

〈女子〉
▼1回戦
小見川 7-5 湖北台
昭和 16-7 西志津
二宮 22-8 聖徳
市川二 18-6 誉田
野田一 26-11 若松
東邦 9-3 佐原二
妙典 15-8 葛飾
東国分 13-11 磯辺二
▼2回戦
花園 14-5 湖北台
逆井 27-9 東国分
二宮 16-15 市川二
野田一 24-7 東邦
花園 20-7 昭和
逆井 14-2 妙典
▼準決勝
花園 19-6 二宮
野田一 13-8 逆井
▼3位決定戦
逆井 16-7 二宮
▼決勝
花園 20（8-6、12-1）7 野田一

千葉県実業団春季リーグ

（4月14～21日／三井石油体育館）

▼1部リーグ
コスモ石油 26-14 海自木補
出光千葉 20-18 三井石化
海自下総 23-13 海自木補
三井石化 22-17 日産石化
出光千葉 29-14 海自木補
コスモ石油 39-22 日産石化
海自下総 19-17 三井石化
日産石化 21-17 海自木補
海自下総 24-19 出光千葉
コスモ石油 20-18 三井石化
三井石化 20-14 海自木補
コスモ石油 32-15 出光千葉
海自下総 31-21 日産石化
出光千葉 27-16 日産石化
海自下総 19-18 コスモ石油
（順位）①海自下総②コスモ石油③出光千葉④三井石化⑤日産石化⑥海自木補
▼2部リーグ
海自館山 キケン 東京電力
東京ガス キケン 東京電力
海自館山 22-13 東京ガス
（順位）①海自館山②東京ガス③東京電力

東海

第20回三重県中学春季大会

（4月28日、5月3日／ジャスコグランドほか）

〈男子〉
▼1回戦
東員第二 22-7 菰野
白子 25-2 常磐
四日市南 23-8 三雲
西笹川 28-4 川越
▼2回戦
朝明 22-13 東員第二
亀山 16-8 白子
西朝明 24-10 四日市南
笹川 21-10 西笹川
▼準決勝
亀山 17-10 朝明
笹川 12-9 西朝明
▼決勝
笹川 15（7-9、8-5）14 亀山

〈女子〉
▼1回戦
阿山 19-4 羽津
▼2回戦
朝明 19-5 大安
西笹川 20-9 四日市南
北勢 15-12 赤目
亀山 12-11 桔梗が丘
白子 10-7 名張北
菰野 22-0 拓植
西朝明 11-2 東員第二
笹川 14-5 阿山
▼3回戦
朝明 17-8 西笹川
北勢 15-15 亀山（1PTC0）
笹川 19-4 白子
菰野 12-5 西朝明
▼準決勝
笹川 15-13 菰野
朝明 20-8 北勢
▼決勝
朝明 12（5-3、7-1）4 笹川

三重県春季大会

（4月21、28、5月4日／ジャスコグランドほか）

〈一般男子〉
▼1回戦
鵜ノ森ク キケン 尾鷲ク
鈴鹿高専 24-13 鳥羽商船
▼2回戦
本田技研 39-5 鵜ノ森ク
西笹川ク 23-10 三重教員
本田爽風会 58-10 四日市中央ク
本田ク 35-8 鈴鹿高専
▼準決勝
本田技研 38-11 西笹川ク
本田ク 29-23 本田爽風会
▼決勝
本田技研 27（11-12、16-10）22 本田ク

〈高校男子〉
▼1回戦
四日市 17-13 津東
四日市南 22-5 上野工
四日市西 13-11 津工
四日市中央 13-11 尾鷲
海星 37-8 津西
▼2回戦
四日市工 29-6 四日市
亀山 21-5 津
四日市四郷 18-10 桑名北
川越 16-13 四日市南
桑名 23-11 四日市西

四日市中央工 17－8 高田
桑名西 23－2 名張西
桑名工 21－12 海星

▼3回戦
四日市工 22－14 亀山
四日市四郷 18－7 川越
桑名 16－5 四日市中央工
桑名工 12－7 桑名西

▼準決勝
四日市工 24－9 四日市四郷
桑名工 16－14 桑名

▼3位決定戦
四日市四郷 19－13 桑名

▼決勝
四日市工 18（9－2、9－3）5 桑名工

〈高校女子〉

▼1回戦
四日市四郷 16－6 桑名
津東 16－5 上野
名張西 14－4 松阪女
四日市南 14－9 四日市
川越 21－5 尾鷲
桑名西 12－11 津
四日市商 24－9 四日市西

▼2回戦
暁 40－2 四日市四郷
津東 15－8 名張西
四日市南 17－12 川越
四日市商 31－10 桑名西

▼準決勝
暁 19－2 津東
四日市商 29－11 四日市南

▼3位決定戦
四日市南 10－6 津東

▼決勝
暁 14（8－4、6－3）7 四日市商

北信越

前期福井県選手権

（4月28、29日／羽水体育館ほか）

〈一般男子〉

▼1回戦
勝山ク 17－11 藤島ク
フクセン 28－5 丹南ク
福井大 23－15 羽球会

▼2回戦
北陸電力 40－11 勝山ク
フクセン 26－15 北志ク
光陽会 26－17 WHC
福井教員 29－15 福井大

▼準決勝
北陸電力 25－16 フクセン
福井教員 24－20 光陽会

▼決勝
北陸電力 24－14 福井教員

〈高校男子〉

▼1回戦
丹南 14－13 藤島
北陸C 20－9 武生B
武生A 13－10 高志
福井商 28－18 武生東

▼2回戦
北陸A 49－2 丹南
金津 21－14 北陸C
羽水 22－11 武生A
北陸B 44－10 福井商

▼準決勝
北陸A 37－10 金津
北陸B 44－3 羽水

▼決勝
北陸A 18－12 北陸B

〈高校女子〉

▼1回戦
高志 21－14 羽水B
福井商 30－2 藤島

▼2回戦
仁愛 30－6 高志
福井農 37－6 武生東
福井女 26－7 武生商
福井商 21－6 羽水A

▼準決勝
仁愛 29－10 福井農
福井商 20－5 福井女

▼決勝
福井商 21－9 仁愛

近畿

第24回滋賀県室内総合選手権

（3月17、24日／彦根東高ほか）

〈男子〉

▼1回戦
彦根東高 27－3 栗東町
高島ク 27－13 野洲ク
長浜ク 17－11 八幡工高
長浜北高 21－11 全滋賀医大
八幡ク 17－6 モック
彦根工高 17－13 守山ク
京セラHC 21－19 芹汀会

▼2回戦
滋賀教員 24－12 彦根東高
八幡ク 24－11 長浜ク
長浜北高 19－14 京セラHC
高島ク 20－14 彦根工高

▼準決勝
高島ク 20－17 八幡ク
滋賀教員 24－12 長浜北高

▼決勝
滋賀教員 19（11－5、8－12）17 高島ク

〈女子〉

▼1回戦
守女ク 13－11 キンチャンズ

▼2回戦
彦根商高 28－11 多賀中
松下電工 20－7 彦根東高
滋賀ク 16－11 河瀬高
守山女高 18－3 守女ク

▼準決勝
松下電工 17－14 彦根商高
滋賀ク 20－17 守山女高

▼決勝
松下電工 29（13－4、16－5）9 滋賀ク

第11回京都府高校選手権

（4月14～29日／田辺中央体育館ほか）

〈男子〉

▼1回戦
洛水 18－8 城南
北嵯峨 19－10 日吉丘
向陽 28－3 同志社
田辺 18－5 洛東
洛西 17－7 八幡

▼2回戦
東山 21－12 洛水
乙訓 21－10 両洋
城陽 26－8 洛陽工
北嵯峨 31－7 洛星
京都西 21－13 木津
伏見工 35－5 成章
東稜 17－12 京都学園
向陽 19－18 大谷
桂 34－6 田辺
西乙訓 10－8 山城
久御山 26－5 鴨沂
東宇治 22－8 平安
嵯峨野 27－10 堀川
西宇治 12－0 塔南
桃山 22－15 南八幡
洛北 28－9 洛西

▼3回戦
東山 26－12 乙訓
北嵯峨 24－5 城陽
京都西 19－14 伏見工
向陽 19－12 東稜
桂 32－12 西乙訓
東宇治 13－9 久御山
嵯峨野 24－14 西宇治
洛北 33－7 桃山

▼4回戦
東山 19－11 北嵯峨
向陽 18－12 京都西
東宇治 16－13 桂
洛北 13－12 嵯峨野

▼準決勝
東山 24－13 向陽
洛北 18－12 東宇治

▼3位決定戦
東宇治 16－9 向陽

▼決勝
東山 19（9－9、10－7）16 洛北

〈女子〉

▼1回戦
乙訓 9－8 北稜
洛西 17－4 鴨沂
西宇治 14－8 北嵯峨
光華 21－4 田辺
南八幡 9－6 東稜
桃山 23－11 塔南
日吉丘 21－7 西山
山城 27－3 城陽
桂 9－6 城南
西乙訓 22－2 洛東
明徳商 13－3 府京都商
洛水 22－5 精華

▼2回戦
洛北 30－6 乙訓
西宇治 23－9 洛西
光華 6－5 南八幡
京都女 14－13 桃山
東宇治 31－9 日吉丘
桂 11－7 山城
明徳商 22－10 西乙訓
向陽 22－15 洛水

▼3回戦
洛北 15－11 西宇治
京都女 15－9 光華
桂 15－13 東宇治
向陽 19－14 明徳商

▼準決勝
洛北 22－11 京都女
向陽 9－8 桂

▼3位決定戦
桂 14－5 京都女

▼決勝
洛北 18（11－6、7－7）13 向陽

中国

中国高校山口県予選

（4月13－15日／徳山高体育館ほか）

〈男子〉

▼1回戦
下関西 30－16 南陽工
山口 28－12 田部
早鞆 22－12 野田学園
小野田工 30－9 防府西
下関第一 23－20 徳山工
華陵 22－11 宇部工
高水 22－14 下松
徳山商 27－10 防府商
下関工 36－11 西京

▼2回戦
下松工 28－12 下関西
山口 25－9 早鞆
小野田工 17－16 下関中央工
徳山 30－7 下関第一
岩国 16－9 華陵
岩陽 15－14 高水
徳山商 28－6 聖光
岩国工 23－7 下関工

▼3回戦
下松工 27－8 山口
徳山 34－8 小野田工
岩国 17－15 岩陽
岩国工 19－6 徳山商

▼準決勝
下松工 23－14 徳山
岩国工 20－6 岩国

▼決勝
下松工 20（9－7、11－4）11 岩国工

〈女子〉

▼1回戦
響 21－13 西京
熊毛北 24－9 防府商
徳山商 24－9 岩国
華陵 24－3 岩陽
高水 18－13 長府
防府西 18－3 新南陽
徳山 35－5 山口中央

▼2回戦
岩国商 35－8 響
徳山商 33－15 熊毛北
華陵 17－13 高水
徳山 26－2 防府西

▼準決勝
岩国商 13－10 徳山商
華陵 18－11 徳山

▼決勝
岩国商 23（13－8、4－9、0－1、3－2、1－0、2－2）22 華陵

中国高校鳥取県予選

（4月20、21日／倉吉工高）

〈男子〉

▼1回戦
米子西 20－13 倉吉東
米子東 33－12 倉吉工
境 19－13 米子北

▼準決勝
境工 29－4 米子西
米子東 1－11 境

▼敗者戦1回戦
米子北 21－17 倉吉工

▼敗者戦2回戦
米子北 21－17 米子西
境 35－4 倉吉東

▼3位決定戦
境 21－17 米子北

▼決勝
境工 15（9－4、6－9）13 米子東

〈女子〉

▼1回戦
米子北 12－7 米子西

▼準決勝
境 20－5 米子北
米子南商 11－6 米子東

▼敗者戦1回戦
米子北 13－1 米子西

▼3位決定戦
米子東 12－5 米子北

▼決勝
境 10（5－2、5－3）5 米子南商

アジア選手権大会入場料金決まる

第6回男子・第3回女子アジアハンドボール選手権大会
兼バルセロナオリンピックアジア地区予選大会
兼世界選手権アジア地区予選大会

開催期日　1991年8月21日～9月1日

会　場　広島サンプラザ
広島市東区スポーツセンター

入場料金

共通券		3,000円（大会全試合）
（一般前売券）		
	開会式	1,500円（当日券2,000円）
	準決勝	1,500円（当日券2,000円）
	決勝	1,500円（当日券2,000円）
	予選リーグ	1,000円（当日券1,500円）
（中高前売券）		
	全試合とも1日券	500円（当日券700円）

6月15日（土）より予約受付開始

問い合わせ先　日本ハンドボール協会
03(3481)2361

第6回男子、第3回女子アジアハンドボール選手権大会
兼バルセロナオリンピック兼世界選手権大会、アジア地区予選

日	試合No.	時間	対戦チーム名	体育館	備　　考
8／22		11：30-	開　会　式	広島	
	1	13：00-	（日本）×（台北）	サンプラザ	1．女子オープニング試合
	2	14：30-	［中国］×［カタール］		2．男子予選ラウンド
	3	16：00-	［日本］×［サウジ］		3．男子予選ラウンド
	4	17：30-	［クウェート］×［シリア］		4．男子予選ラウンド
	5	19：00-	［韓国］×［バーレーン］		5．男子予選ラウンド
	※	20：30-	［台北］×［オーストラリア］		
8／23	6	10：00-	（中国）×（北朝鮮）	東区	6．女子リーグ
	7	11：30-	［北朝鮮］×［中国］	スポーツ	7．男子予選ラウンド
	※	12：45-	［オーストラリア］×［日本］	センター	
	8	16：30-	［アラブ首長国］×［クエート］		8．男子予選ラウンド
	9	18：00-	［イラン］×［韓国］		9．男子予選ラウンド
	10	19：30-	［サウジ］×［台北］		10．男子予選ラウンド
8／24	11	10：00-	（北朝鮮）×（日本）	東区	11．女子リーグ
	12	11：30-	（韓国）×（中国）	スポーツ	12．女子リーグ
	※	12：45-	［サウジ］×［オーストラリア］	センター	
	13	15：00-	［クエート］×［北朝鮮］		13．男子予選ラウンド
	14	16：30-	［シリア］×［アラブ首長国］		14．男子予選ラウンド
	15	18：00-	［バーレーン］×［イラン］		15．男子予選ラウンド
	16	19：30-	［台北］×［日本］		16．男子予選ラウンド
8／25	17	10：00-	（台北）×（中国）	東区	17．女子リーグ
	18	11：30-	（北朝鮮）×（韓国）	スポーツ	18．女子リーグ
	19	15：00-	［1B］×［2A］	センター	19．男子メインラウンド
	20	16：30-	［1A］×［2D］		20．男子メインラウンド
	21	18：00-	［1D］×［2C］		21．男子メインラウンド
	22	19：30-	［1C］×［2B］		22．男子メインラウンド
8／26			休　養　日		
8／27	23	10：00-	［B3］×［D3］	東区	23．男子予選ラウンド
	24	11：30-	［A3］×［C3］	スポーツ	24．　　　3位対抗
	25	15：00-	［2C］×［1B］	センター	25．男子メインラウンド
	26	16：30-	［2B］×［1A］		26．男子メインラウンド
	27	18：00-	［2A］×［1D］		27．男子メインラウンド
	28	19：30-	［2D］×［1C］		28．男子メインラウンド
8／28	29	10：00-	（日本）×（韓国）	東区	29．女子リーグ
	30	11：30-	（台北）×（北朝鮮）	スポーツ	30．女子リーグ
	31	15：00-	［1B］×［1D］	センター	31．男子メインラウンド
	32	16：30-	［1A］×［1C］		32．男子メインラウンド
	33	18：00-	［2C］×［2A］		33．男子メインラウンド
	34	19：30-	［2B］×［2D］		34．男子メインラウンド
8／29	35	15：00-	［LM23］×［LM24］	東区	35．勝は11位敗は12位
	36	16：30-	［WM23］×［WM24］	スポーツ	36．勝は9位敗は10位
	37	18：00-	［4MRA］×［4MRB］	センター	37．勝は7位敗は8位
	38	19：30-	［3MRA］×［3MRB］		38．勝は5位敗は6位
8／30	39	17：30-	［1MRA］×［2MRB］	広島	39．男子準決勝
	40	19：30-	［1MRB］×［2MRA］	サンプラザ	40．男子準決勝
8／31			休　養　日（男子チームのみ）		
8／31	41	12：00-	（韓国）×（台北）	広島	41．女子リーグ
	42	14：05-	（中国）×（日本）	サンプラザ	42．女子リーグ
9／1	43	12：00-	［LM39］×［LM40］	広島	43．男子3－4位決定戦
	44	14：05-	［WM39］×［WM40］	サンプラザ	44．男子決勝戦

（財）日本ハンドボール協会編
『ハンドボール』
第三〇九号
昭和四十年六月十七日 平成三年五月二十六日 印刷
第三種郵便物認可 平成三年六月一日 発行
東京都渋谷区神南一—一—一
電話 代表 三四八一—二三六一
振替 東京 六—五八三四八番
編集兼発行人 安藤純光
定価三百五十円
（年間購読料三千三百円）